ONKYO®

CD レシーバーシステム

X-T2CR

CR-T2（CD レシーバー）
D-T2（スピーカーシステム）
DS-A1XP（リモートインタラクティブドック）

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

接続する

基本の操作

ラジオを聞く

放送局を編集する

目次

名前をつける

CDを聞く

iPodを再生する

いろいろな設定

時計とタイマー

困ったときは

その他

主な特長

「X-T2CR」はCR-T2（CDレシーバー）、D-T2（スピーカーシステム）とDS-A1XP（リモートインタラクティブドック）で構成されています。

CDレシーバー（CR-T2）部

■ 音楽用CD-R、CD-RW再生にも対応*

■ 30局メモリー可能なFM/AMチューナー搭載（FMはオートプリセット可能）

■ 重低音の調整ができるS.BASS（スーパーバス）機能、低音や高音を調整できるBASS（バス）、TREBLE（トレブル）機能

＊ PCMフォーマットで録音された音楽用CD-R/RWで、ファイナライズ済みのディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

スピーカー（D-T2）部

■ ウーファー振動板に、「PEN（ポリエチレン・ナフタレート）」による織布と天然繊維とをハイブリッド成型した「A-OMF」振動板を採用

■ ツィーター振動板にバランスドーム型を採用

■ クリアな音質に磨きをかけるラウンドフォルムキャビネット

■ AERO（エアロ） ACOUSTIC（アコースティック） DRIVE（ドライブ）採用のスリットダクト

リモートインタラクティブドック*（DS-A1XP）部

■ CR-T2に接続して、iPodをより良い音質で再生

■ 付属のリモコンでiPodの主要操作が可能

■ iPodの充電が可能

＊ 本書では、以降「リモートインタラクティブドック」を「RIドック」と表現します。

接続できるiPod

iPod touch（第2世代、第1世代）、iPod（classic、第5世代、photo、第4世代）、iPod nano（第4〜1世代）、iPod mini

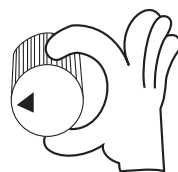
ご注意

第3世代iPodには対応していません。

ご使用になる前に、必ずご使用のiPodを最新のバージョンにアップデートしてください。詳細はApple社ホームページのサポートのマニュアルを参照してください。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

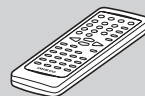
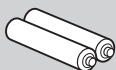
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。(　)内の数字は数量を表しています。

センターユニット部に同梱

●AM室内アンテナ（1）
AM放送を受信するアンテナです。

●FM室内アンテナ（1）
FM放送を受信するアンテナです。

●リモコン（RC-734S）（1）

●単3乾電池（2）

●取扱説明書（本書）（1）
●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

スピーカーシステム部に同梱

●スピーカーコード 1.1 m（2）

●RIドック用ACアダプター（1）

●オーディオ用ピンコード（1）
アナログ音声を送るコードです。

●RIケーブル（1）
RI端子付きのオンキヨー製品を連動させるケーブルです。

付属のACアダプターはRIドック専用です。他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグやACアダプターを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグやACアダプターをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CDレシーバーには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- CDレシーバーを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（CDレシーバーの天面から10cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグ・AC アダプターに関するご注意

■電源コードやACアダプターを傷つけない

禁止

- 電源コードやACアダプターの上に重い物をのせたり、コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグやACアダプターは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグやACアダプターにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグやACアダプターを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

■ACアダプターに布や布団をかぶせない

禁止

熱がこもり火災の原因となります。

⚠ 警告

使用上のご注意

■CDレシーバー内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CDレシーバーの通風孔、CD挿入口から異物を入れない
- CDレシーバーの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■CD挿入口に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグ、ACアダプターに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■製品の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードやACアダプターのコードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグやACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグやACアダプターをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグやACアダプターは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグやACアダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグとACアダプターを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグとACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CDレシーバーの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグ、ACアダプターや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットを持って移動させないでください。

■ 機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

CDについて

再生上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

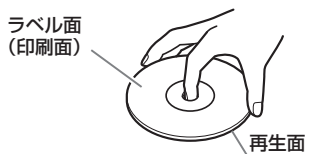
※
※
※CDレシーバーは音楽用CD（CD-DA）として録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また、傷などをつけないようにしてください。

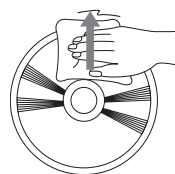
レンタルCDについてのご注意

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWについてのご注意

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。必要なとき以外は、ディスクを入れたままにしないでケースに保管してください。
なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

CDのお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので、絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

製品の表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると、本機との相互作用によりテレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

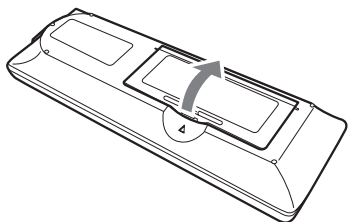
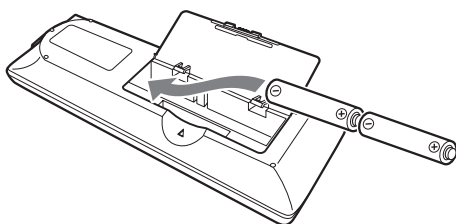
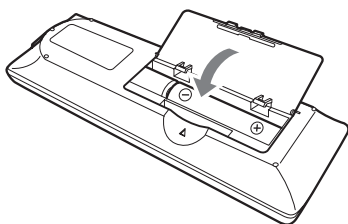
CDレシーバーを冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、CDレシーバーの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。CDレシーバーをご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、CDレシーバーの電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について

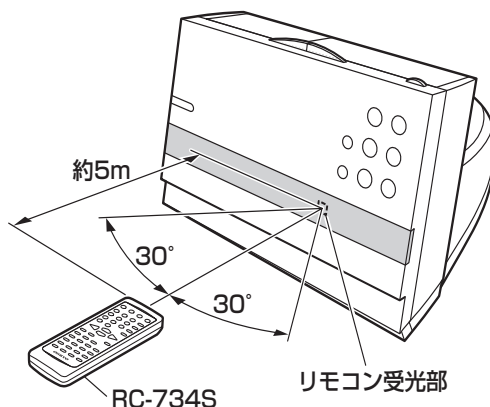
CDレシーバーには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。CDレシーバーの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約1週間です。
ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

準備する

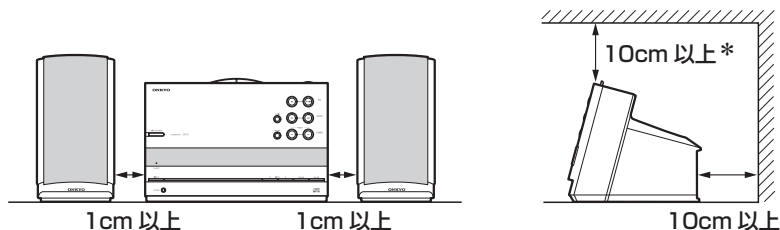
リモコンに乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. カバー裏の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

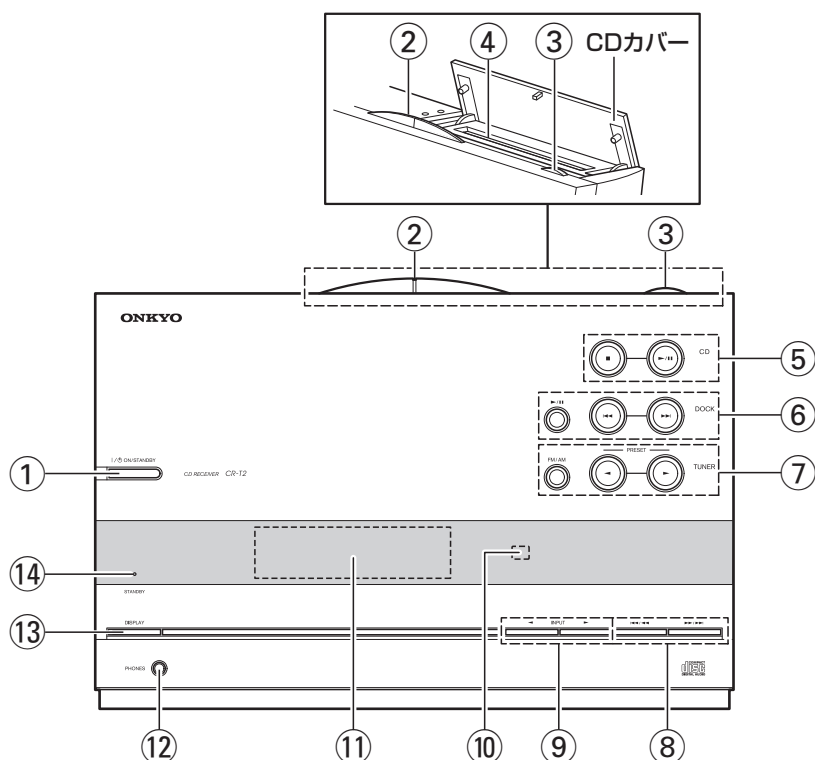
リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。

本体、スピーカーを設置する

本体は熱くなりますので、放熱のために下図のように壁などから10cm以上離して設置してください。

＊CDを聞くときは、ディスクの出し入れのために15cm以上必要です。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔 〕のページに主な説明があります。

① ON/STANDBYボタン〔24〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

② VOLUME▼/▲ボタンとインジケーター〔25〕
音量を調節します。電源を入れるとインジケーターがしばらく点滅したのち点灯します。ミューティングが働いているときもインジケーターが点滅します。

③ CD OPEN/EJECTボタン〔34〕
CDを取り出すときに押します。ボタンを押すとCDカバーが開き、CDが出てきます。CDカバーは手で閉めてください。

④ CD挿入口〔34〕
CDを挿入します。CDを入れると、本機内部に引き込まれます。

⑤ CD部操作ボタンとインジケーター

■ボタン〔34〕
CDの再生を停止します。インジケーターはCDが入っているときに点灯し、CD読み込み中と取り出し中は点滅します。

►/❚❚ボタン〔34〕
CDの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。インジケーターは再生中点灯します。

⑥ DOCK部操作ボタンとインジケーター

►/❚❚ボタン〔38〕
RIドックにセットされているiPodの再生を始めます。再生中に押すと、一時停止状態になります。インジケーターは再生中点灯します。

⏮/⏭ボタン〔38〕
RIドックにセットされているiPodの前後の曲を選びます。インジケーターはソースがDOCKのとき点灯し、ボタンを押したときに一瞬消灯します。

⑦ TUNER部操作ボタンとインジケーター

FM/AMボタン〔26、29〕
ソースをFMまたはAMに切り換えます。

PRESET◄/►ボタン〔29〕
登録した放送局を選びます。インジケーターはソースがFM/AMのとき点灯し、ボタンを押したときに一瞬消灯します。

⑧ ⏮/◄◄、►►/⏭ボタン〔26、34、38〕
CDのときは、押すたびに前後の曲を選びます。再生中に押し続けると、曲を早戻しまたは早送りします。
DOCKのときは、押すたびにRIドックにセットされているiPodの前後の曲を選びます。再生中に押し続けると、曲を早戻しまたは早送りします。
FM/AMのときは、周波数を合わせます。

⑨ **INPUT◀/▶ボタン〔25、41〕**
聞くソースを選びます。

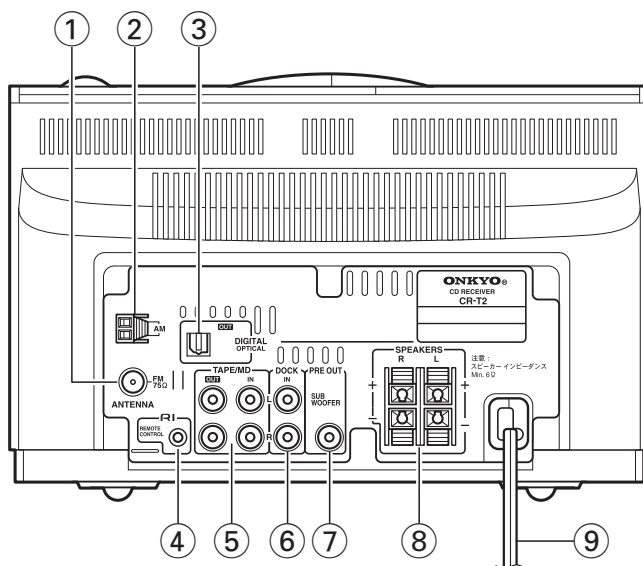
⑩ **リモコン受光部〔11〕**
リモコンからの信号を受信します。

⑪ **表示部〔14〕**
14ページをご覧ください。

⑫ **PHONES端子〔25〕**
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑬ **DISPLAYボタン〔24、29、35、41〕**
表示部の情報を切り換えます。

⑭ **STANDBYインジケーター〔24〕**
スタンバイ状態のときに点灯します。

背面パネル

① **ANTENNA（FM75Ω）端子**
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続する端子です。

② **ANTENNA（AM）端子**
付属のAM室内アンテナを接続する端子です。

③ **DIGITAL OPTICAL OUT端子**
光デジタル音声出力端子です。
入力がCDのときのみ出力（PCM信号）されます。
デジタル入力端子付きのMDレコーダーなどと接続します。接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

④ **RI REMOTE CONTROL端子**
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして連動しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑤ **TAPE/MD（OUT/IN）端子**
カセットテープデッキやMDレコーダーなどを接続する端子です。

⑥ **DOCK IN端子**
付属のRIドックを接続する端子です。

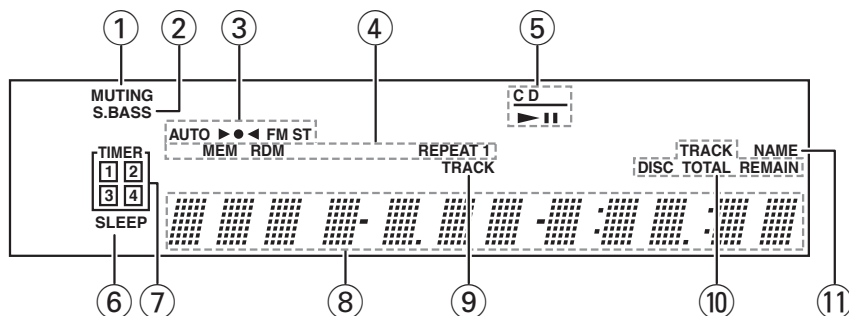
⑦ **PRE OUT端子**
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑧ **SPEAKERS端子**
スピーカーを接続する端子です。
同梱のスピーカー（D-T2）を接続します。

⑨ **電源コード**

接続については、18〜23ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

表示部

① MUTING表示（ミューティング）
ミューティングが働いているときに点滅します。

② S. BASS表示（スーパーバス）
スーパーバスが働いているときに点灯します。

③ FM/AM受信状態表示
FM/AM受信時の状態を表示します。(☞26、29ページ)

④ 再生モード表示

MEM（メモリー）：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM（ランダム）：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT（リピート）：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1：1曲リピート再生時に点灯します。

⑤ CD 再生表示
CDの再生状態を表示します。

⑥ SLEEP表示（スリープ）
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

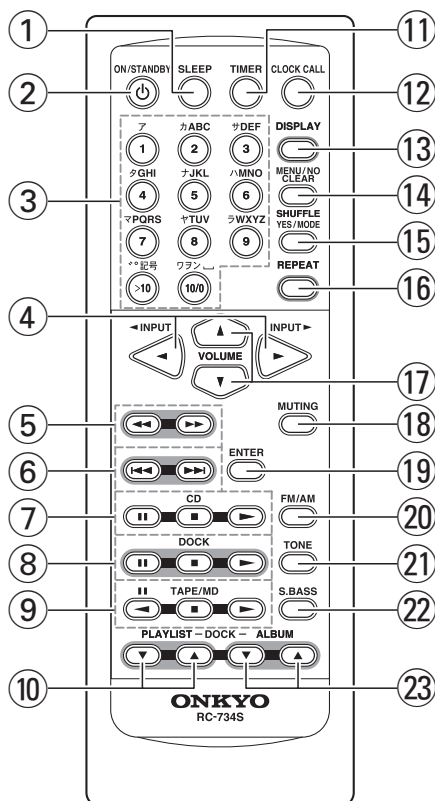
⑦ TIMER表示（タイマー）
タイマーのセット状態を表示します。
1 ～4：タイマー 1～4設定時にその番号が点灯します。
□：タイマー録音設定時に番号の枠が点灯します。

⑧ 多目的表示部
入力ソースや再生時間などを表示します。

⑨ TRACK表示（トラック）
トラック番号が表示されているときに点灯します。

⑩ CD情報表示
多目的表示部に表示されている情報によって、それを示す表示が点灯します。

⑪ NAME表示（ネーム）
登録した放送局の名前が表示されているときに点灯します。

リモコン（RC-734S）〔　〕のページに主な説明があります。

① SLEEPボタン〔43〕
スリープタイマーの設定に使用します。

② ON/STANDBYボタン〔24、46〕
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

③ 数字、文字ボタン〔32、35、42〕
選曲時に使用します。また、放送局名などの文字入力時や時刻設定時に使用します。

④ INPUT◀/▶ボタン〔25〕
押すごとに入力が切り換わります。

⑤ ◀◀/▶▶ボタン〔26、33、35〕
CD、DOCKのときは再生中の曲を早戻し、早送りします。文字入力時はカーソルを移動します。ラジオのときは周波数の選択に使用します。

⑥ I◀◀/▶▶I ボタン
〔27～33、35、36、40、42、44～47〕
CD、DOCKのときは前後の曲を選びます。ラジオのときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

⑦ CD操作ボタン〔35〕
II ：再生を一時停止します。
■ ：再生を停止します。
► ：再生を始めます。

⑧ DOCK操作ボタン〔39〕
II ：再生を一時停止します。
■ ：再生を停止します。
► ：再生を始めます。

⑨ 別売りのオンキヨー製カセットテープデッキ/MD操作ボタン
◄/II：MDの場合、一時停止として働きます。
カセットテープデッキの場合は、裏面を再生します。
■：再生、録音や早送り、巻戻し（早戻し）を停止します。
►：再生を始めます。カセットテープデッキの場合は、表面を再生します。

⑩ PLAYLIST▼/▲ボタン〔39〕
RIドックにセットしたiPodのプレイリストを選びます。

⑪ TIMERボタン〔42、44、47〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑫ CLOCK CALLボタン〔42〕
時刻を表示させるときに押します。

⑬ DISPLAYボタン〔29、32、35〕
押すたびに表示部の情報が切り換わります。
文字入力時は文字の種類を選びます。

⑭ MENU/NO/CLEARボタン
〔27、28、30～33〕
編集や設定に入ります。設定中は操作を取り消して元に戻ります。

⑮ SHUFFLE/YES/MODEボタン
〔28～30、32、36、37〕
設定などの項目を決定します。メモリー再生やランダム再生を設定します。

⑯ REPEATボタン〔37〕
くり返し再生を設定します。

⑰ VOLUME▼/▲ボタン〔25〕
音量を調節します。

⑱ MUTINGボタン〔25〕
音を一時的に消します。

⑲ ENTERボタン
〔27、28、30～33、36、40、42、44～47〕
編集や各設定の項目を確定します。

⑳ FM/AMボタン〔26、27、29〕
入力をチューナーに切り換えます。押すたびに、FMとAMを切り換えます。

㉑ TONEボタン〔40〕
低音（BASS）、高音（TREBLE）を調整します。

㉒ S. BASSボタン〔40〕
重低音を強調します。

㉓ ALBUM▼/▲ボタン〔39〕
RIドックにセットしたiPodのアルバムを選びます。

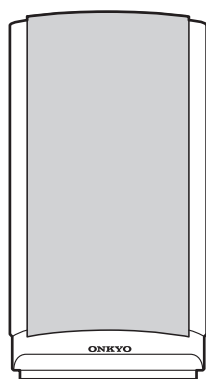
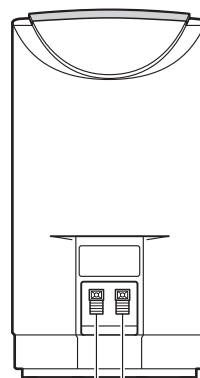
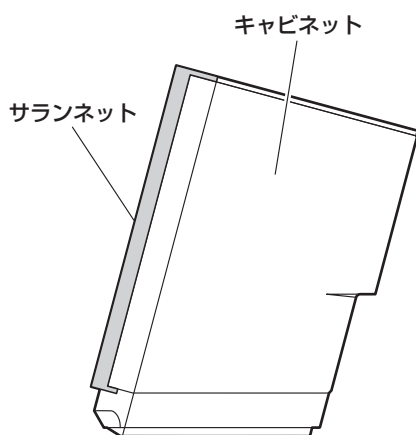
※オンキヨー製のカセットテープデッキやMDレコーダーを接続しているときに使用できるボタンについての詳細は、41ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

スピーカー（D-T2）

D-T2にはスピーカーの左右の区別はありません。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

■ 前面

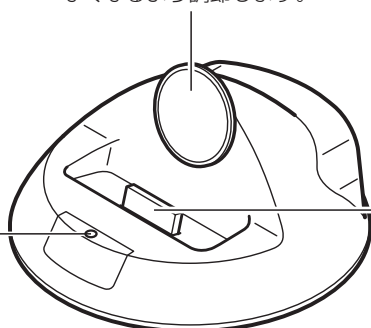
■ 背面

■ 側面

ご注意

このスピーカーシステムは前面のサランネットを取りはずすことはできません。無理にはずそうとすると故障の原因となります。

リモートインタラクティブドック（RIドック DS-A1XP）

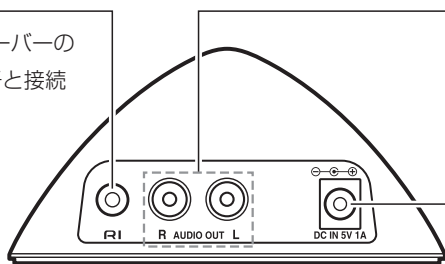
■上面

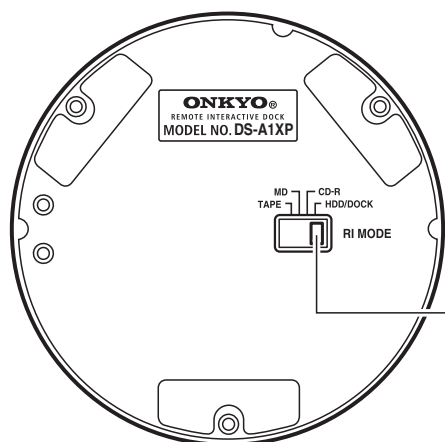
iPodアダプター
お使いのiPodの背面とのすき間がなくなるよう調節します。

パワーインジケーター
RIドックが動作中、点灯します。

iPodコネクタ
iPodを接続します。

■背面

RI端子
付属の RI ケーブルでCDレシーバーの RI REMOTE（リモート） CONTROL（コントロール）端子と接続します。

AUDIO（オーディオ） OUT（アウト） L/R端子
付属のオーディオ用ピンコードで、CDレシーバーのDOCK（ドック） IN（イン）端子と接続します。

ACアダプター接続端子 (DC IN 5V 1A)
付属のRIドック用ACアダプターを接続します。

■底面

RI MODE（モード）切換スイッチ
CDレシーバー(CR-T2)と接続するときは、このスイッチを「HDD/DOCK」にします。

接続する

スピーカーを接続する

右側(Rチャンネル)の
スピーカー

左側(Lチャンネル)の
スピーカー

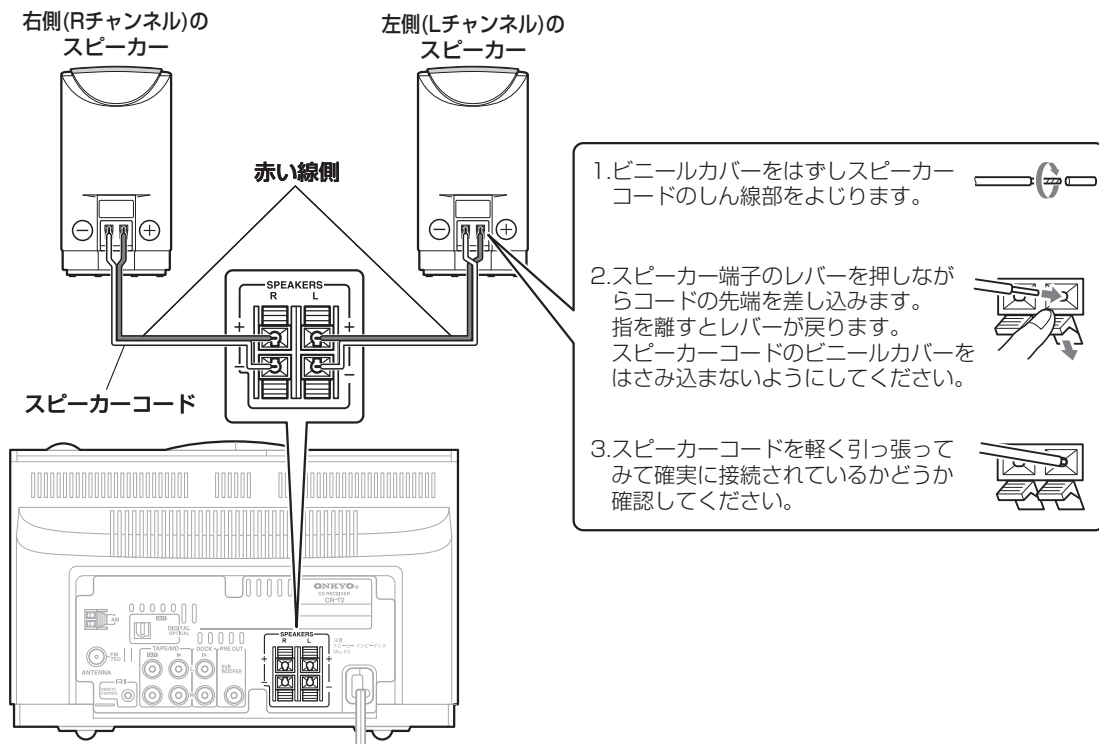
赤い線側

SPEAKERS
R L

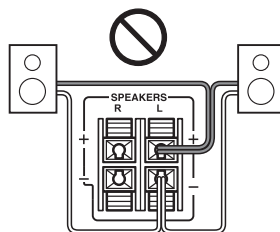
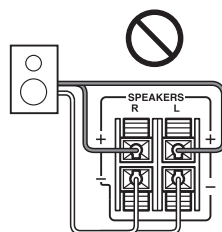
スピーカーコード

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
スピーカーコードのビニールカバーをはさみ込まないようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- スピーカーのプラス⊕と本体のプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖と本体のマイナス⊖を接続します。
付属のスピーカーコードの赤い線の方をプラス⊕側に接続してください。
- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

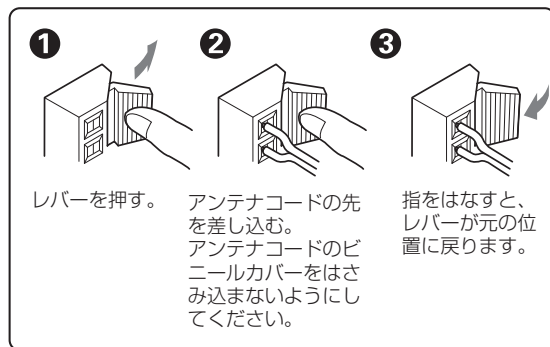
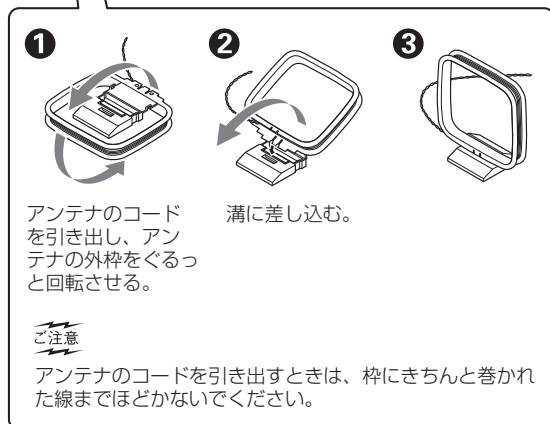
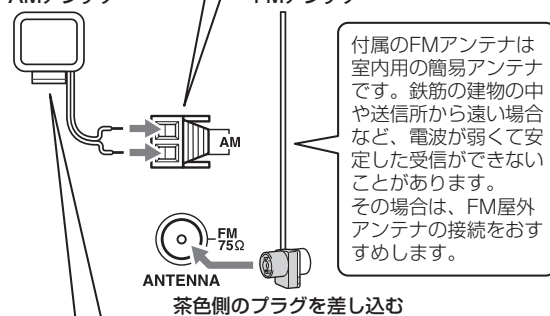
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーはインピーダンスが6Ω(オーム)～16Ωのものを接続してください。6Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
同梱のスピーカー(D-T2)は、本機(CR-T2)に合うように設計されています。本機(CR-T2)と他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますので、ご了承ください。

- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続(例 1)したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列に接続(例 2)しないでください。故障の原因になります。

ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

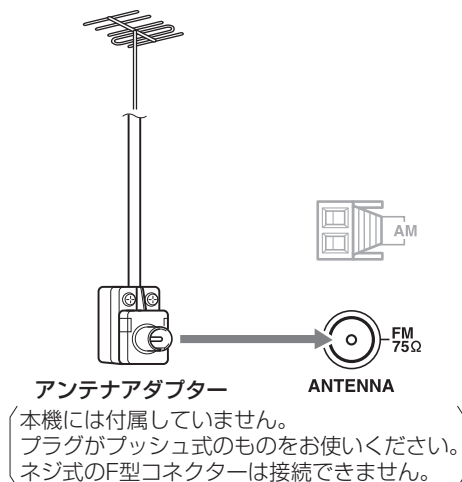
アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(☞26ページ)

ご注意

アンテナのコードを引き出すときは、枠にきちんと巻かれた線までほどかないでください。

! ヒント

AM アンテナのコードの先端は上下端子のどちらに接続してもかまいません。(スピーカーコードのように、⊕/⊖ の区別はありません。)

FM屋外アンテナを接続する

本機には付属していません。
プラグがプッシュ式のものをお使いください。
ネジ式のF型コネクターは接続できません。

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

! ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定したFM受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

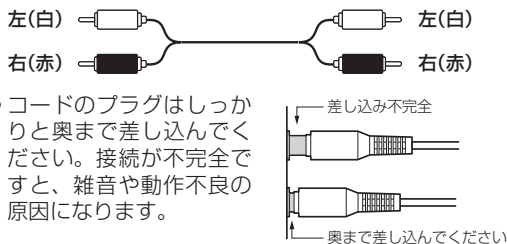
外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 白いプラグを左チャンネル（Lの表示）、赤いプラグを右チャンネル（Rの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、CDレシーバーの出力音声に雑音が入るときは、CDレシーバーをテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル出力端子について

本機の光デジタル出力端子は、とびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

設置の際は、CDレシーバーの上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。

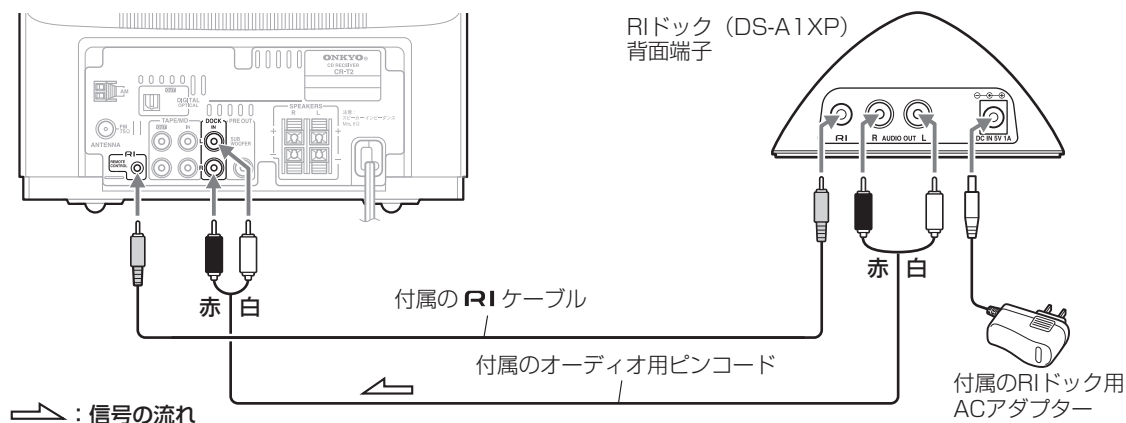
音声ケーブルと端子の種類について

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	**ケーブルの形**	**端子の形**	**ケーブルや端子の役割**
光デジタルケーブル（OPTICAL）		DIGITAL OPTICAL	デジタル信号を伝送します。
オーディオ用ピンコード（製品に付属しています。）		L R	アナログ音声を伝送します。

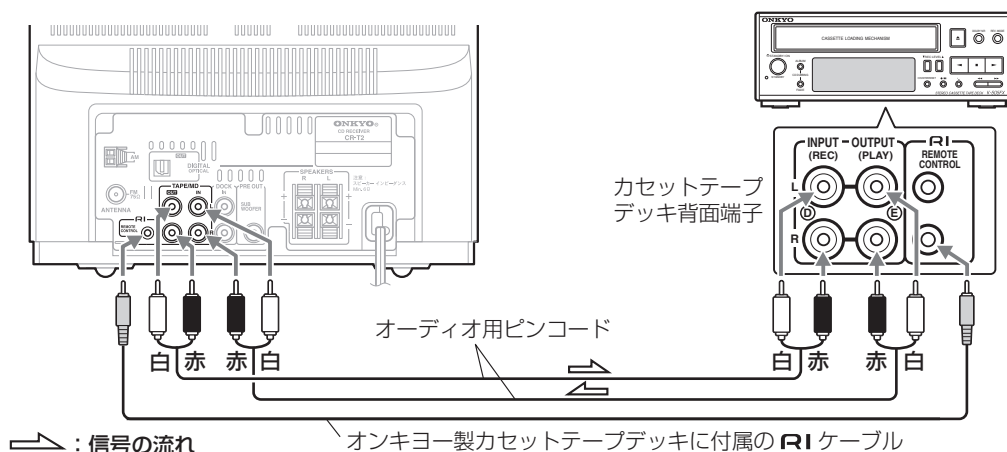
外部機器を接続する

付属のリモートインタラクティブドック（RIドック）を接続する

付属のRIドック（DS-A1XP）を本機と接続します。
付属のオーディオ用ピンコードを使って、本機のDOCK IN端子とRIドックのAUDIO OUT端子を接続してください。
付属のRIケーブルを使って、本機のRI端子とRIドックのRI端子を接続してください。
付属のRIドック用ACアダプターをRIドックのACアダプター接続端子（DC IN 5V 1A）に接続してください。

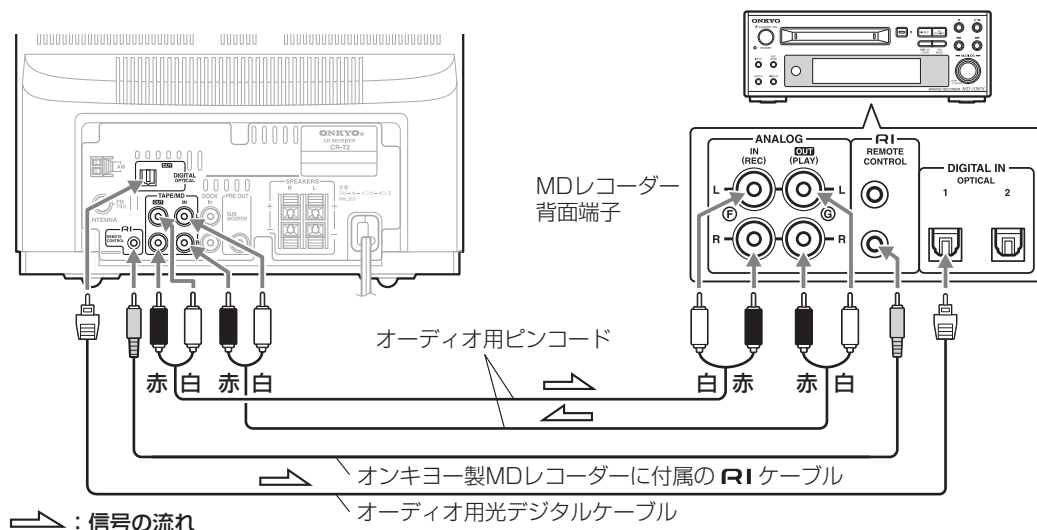
ご注意
本機に付属のRIドック用ACアダプターは、DS-A1XP専用です。他の機器に接続して使わないでください。また、DS-A1XPに他の機器のACアダプターを接続するとDS-A1XPの故障の原因となりますので、必ず付属のACアダプターをお使いください。

RI端子を接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）
- 付属のリモコンでRIドックに接続されたiPodも操作できます。（☞39ページ）RIドック底面のRI MODE切換スイッチを「HDD/DOCK」にしてください。
- iPodを再生すると、本機の入力が自動的にDOCKに切り換わります。

カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

本機のTAPE/MD OUT端子とカセットテープデッキの音声入力端子INPUT（REC）を接続してください。
本機のTAPE/MD IN端子とカセットテープデッキの音声出力端子OUTPUT（PLAY）を接続してください。

オンキヨー製カセットテープデッキとRI端子を接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）
- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（☞41ページ。お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）
- 付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。

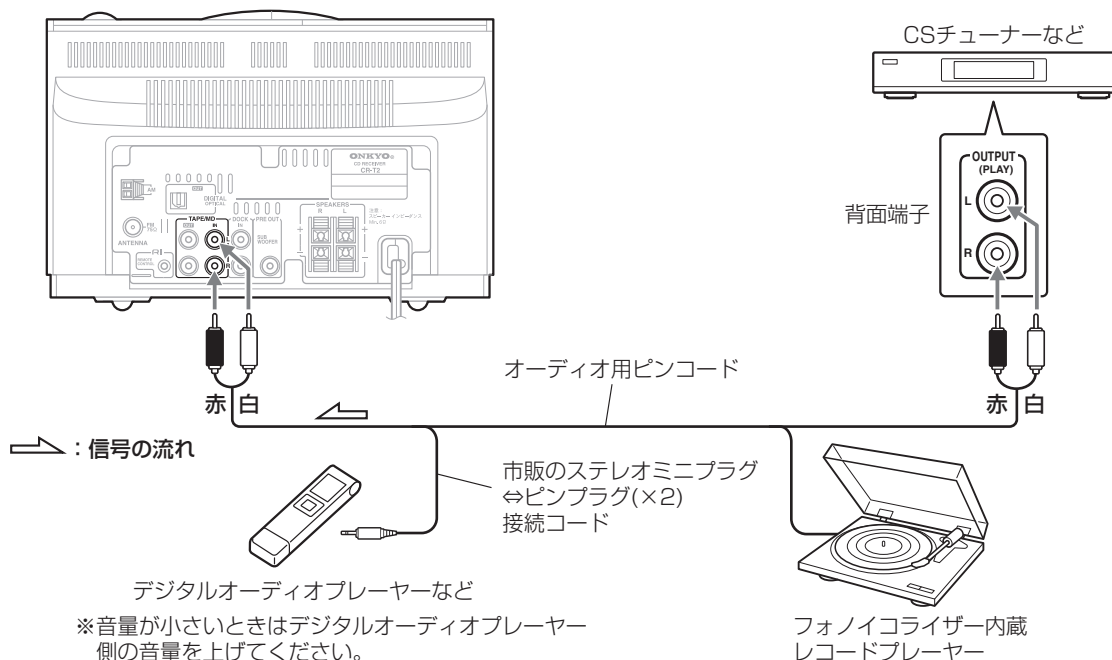
外部機器を接続する

MDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製MDレコーダーとの接続例です。）

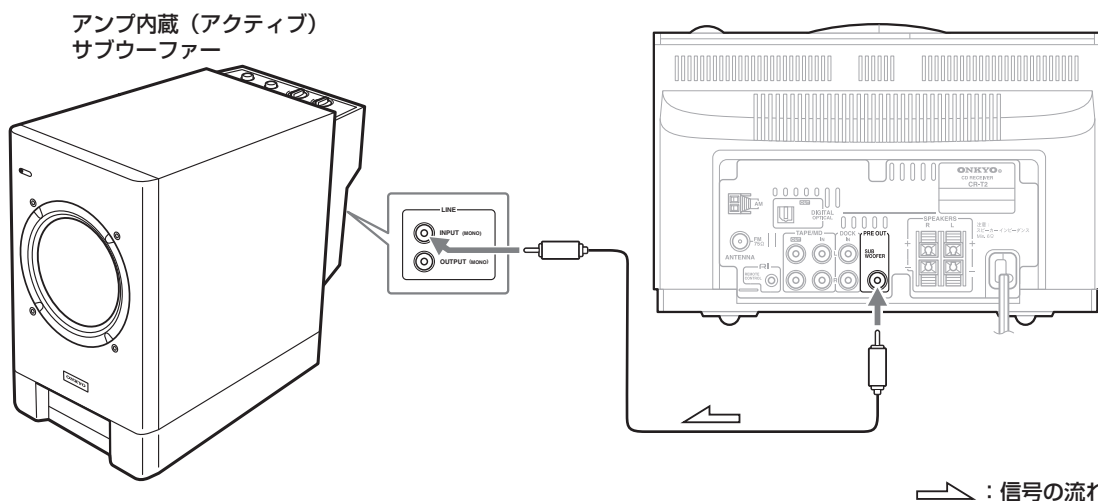
本機のTAPE/MD OUT端子とMDレコーダーの音声入力端子を接続してください。
本機のTAPE/MD IN端子とMDレコーダーの音声出力端子を接続してください。
MDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OPTICAL OUT端子とMDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続してください。

オンキヨー製MDレコーダーとRI端子を接続すると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）

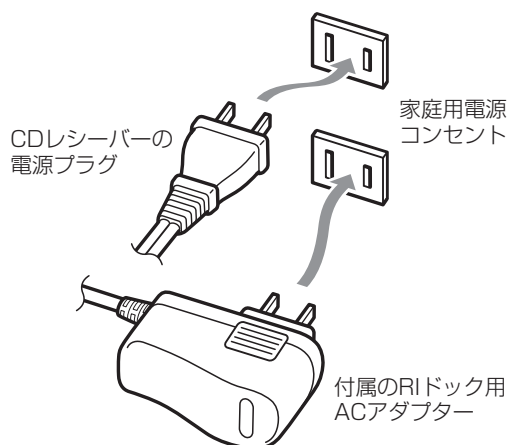
- 外部入力の表示名称を「MD」にする必要があります。（☞41ページ）
- 付属のリモコンでオンキヨー製MDレコーダーも操作できます。
- オンキヨー製MDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にMDに切り換わります。

他の機器を接続する

本機のTAPE/MD IN端子と外部機器の音声出力端子を適切な接続コードを使用して接続してください。
外部機器の音声を聞くときは、入力を「TAPE」（または「MD」）に切り換えてください。

外部機器を接続する

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトです。サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。
RIドック用ACアダプターとCDレシーバーの電源コードを家庭用電源コンセントに接続してください。
電源コードを接続すると、CDレシーバーはスタンバイ状態となり、STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯します。

RIドック用ACアダプター使用上のご注意
家庭用電源コンセントにACアダプターを差し込んだ状態でRIドック（DS-A1XP）からACアダプターを抜くと、感電する可能性があります。ACアダプターを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。

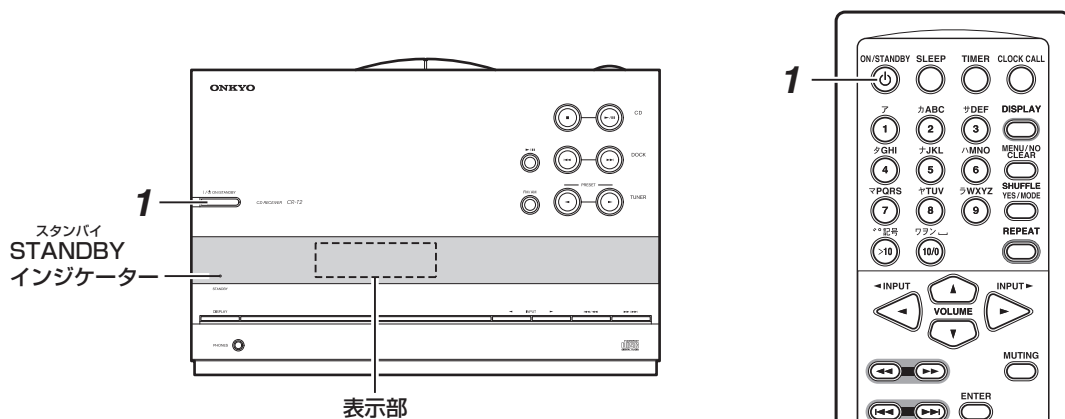
基本の操作を理解する

電源を入れる

電源を入れる前に

- 18〜23ページの接続がすべて終了しているか確認してください。

1

本体

I/⏻ ON/STANDBY

または

リモコン

ON/STANDBY

本体またはリモコンのON/STANDBYボタンを押す

STANDBYインジケーターが消え、表示部が点灯して電源が入ります。
電源を切るときは、もう一度押します。

！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているRIドックやオンキヨー製MDレコーダー、カセットテープデッキの電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のオンとスタンバイを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったりスタンバイ状態になります。

ご注意

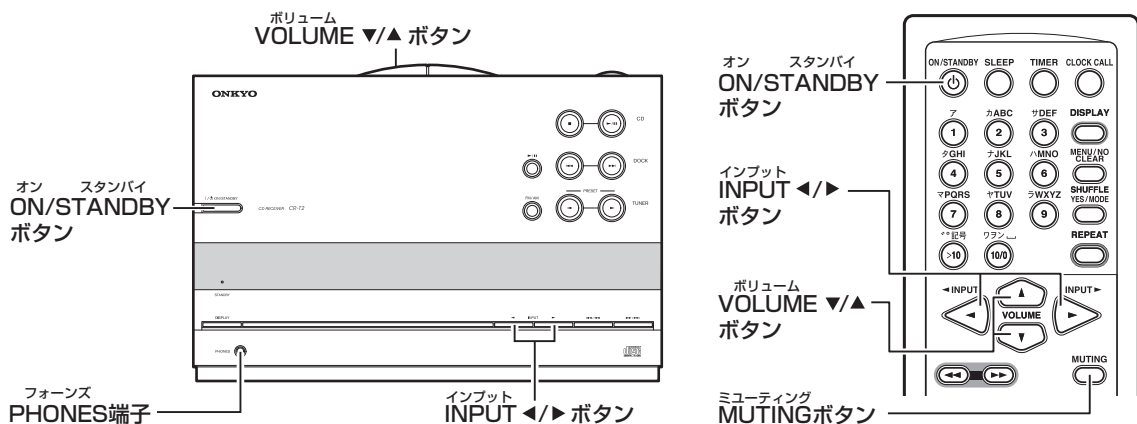
電源コードをコンセントから抜く場合は、必ず ON/STANDBY ボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。電源スイッチ付きのテーブルタップに電源コードを接続しているときも、電源を切る前に本機をスタンバイ状態にしてください。

デモンストレーション機能について

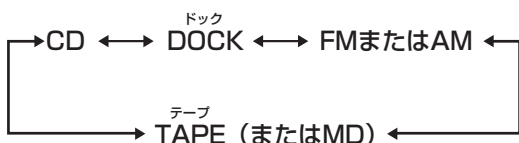
本機にはデモンストレーション機能があります。
入力が順に切り換わってS.BASSなどが切り換わるときは、デモンストレーション機能を解除（停止）してください。

解除（停止）する
電源をスタンバイ状態にして「DEMOテイシ：DISP」と点滅している間に、本体のDISPLAYボタンを押します。

実行する
スタンバイ状態のときに本体のDISPLAYボタンを押します。「DEMOカイシ：DISP」と点滅している間に、もう一度本体のDISPLAYボタンを押します。

基本の操作を理解する

入力を切り換える

本体またはリモコンのINPUT◀/▶ボタンを押して切り換える

CD、DOCK、FM/AM放送、接続した外部機器から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

！ヒント

TAPE/MD端子に接続している機器がカセットテープデッキやMDレコーダーの場合は、表示部に表示される名前を変更することができます。（☞41ページ）また、オンキヨー製のカセットテープデッキやMDレコーダーをRI接続しているときは、名前を変更するとシステム動作が可能になり、本機に付属のリモコンで操作することができます。

音量を調節する

本体またはリモコンのVOLUME▼/▲ボタンを押す

！ヒント

本体のVOLUME▼/▲ボタンの中央部は押せません。ボタンの左右の端を押して音量を調節してください。

音を一時的に消す

リモコンのMUTINGボタンを押す

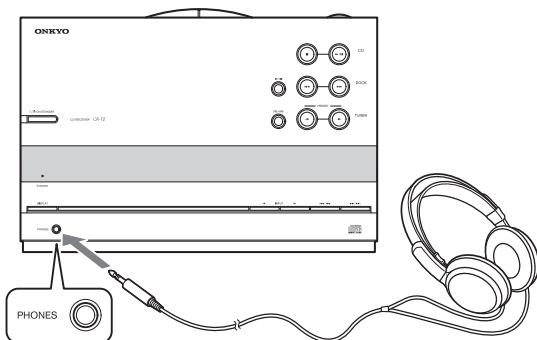
MUTING表示とVOLUMEインジケーターが点滅し、音が消えます。

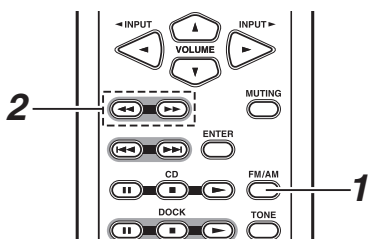
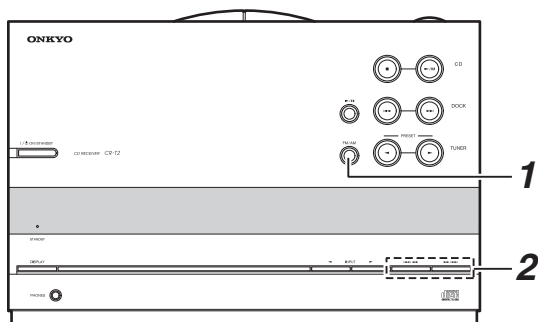
解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押します。

- 音量を変えたり、ON/STANDBYボタンを押した場合にも解除されます。

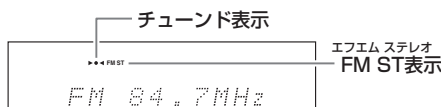
ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

FM/AM放送を聞く

手動で周波数を合わせて聞く

チューニングしている間は、▶ ◀が点滅します。
放送局を受信するとチューンド表示（▶●◀）が点灯します。
FMステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

1

本体

または

リモコン

FM/AM

本体またはリモコンのFM/AMボタンを押す

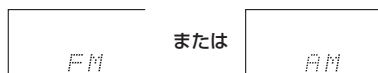
FMとAMを切り換えるには、もう一度押します。

FM　または　AM

2

本体

または

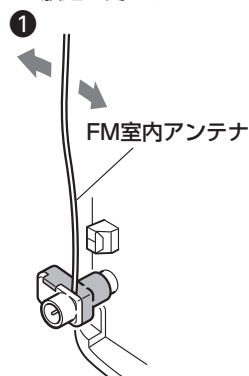
リモコン

本体の⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンまたはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

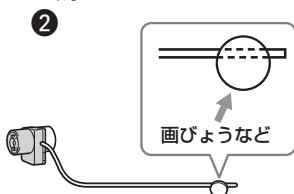
1回押すごとに周波数がFMでは0.1 MHz、AMでは9kHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局を受信すると自動的に停止します。

アンテナを調整する

FM室内アンテナを調整して固定する

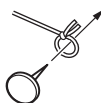
FM放送を聞きながらFMアンテナを調整します。

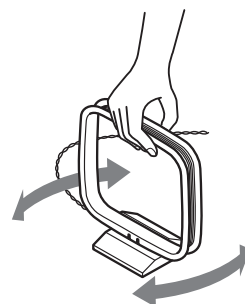
❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になる設置場所を見つけます。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止めます。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント

アンテナがはずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になるようアンテナの位置を変えたり向きを調整します。

！ヒント

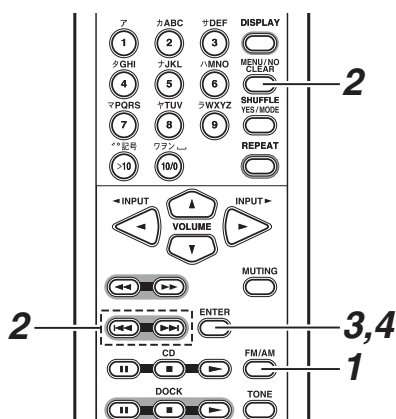
マンションなど鉄筋の建物の場合、窓際などできるだけ電波が届きやすいところにアンテナを設置してください。

放送局を登録して聞く

FMを自動で登録する−オートプリセット−（リモコンのみ）

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局できます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。AM局は自動で登録できませんので、次ページをご覧ください。

ご注意

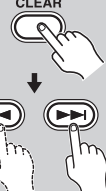
すでに放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録局はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞26ページ）

ご注意

受信環境によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞31ページ）

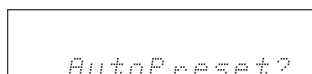
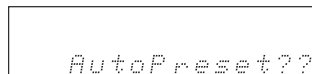
1

FM/AMボタンを押して「FM」を表示させる

FM 76.0MHz

2

MENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「AutoPreset?（オートプリセット）」を表示させる

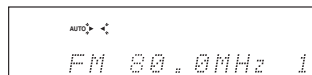
AutoPreset?

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??（オートプリセット）」が表示されます。
中断するときはMENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押してください。

4

ENTERボタンを押す

FM 80.0MHz 1

オートプリセットが始まります。
周波数の低い順に自動的に最大20局まで登録していきます。

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

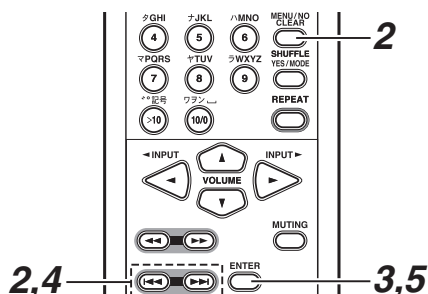
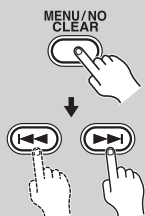
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞32ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞31ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞30ページ

1局ずつ登録する－プリセットライト－（リモコンのみ）

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。FM局は、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。

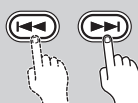
予備知識

- FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

1
放送局を受信する（☞26ページ）

2
MENU/NO/CLEAR ボタンを押した後、⏮/⏭ ボタンを押して「Preset Write?」を表示させる

PresetWrite?

3
ENTERボタンを押す

AM 810kHz 1

登録するチャンネルが点滅表示されます。
中断するときはMENU/NO/CLEARボタンを押します。

4
別のチャンネルに登録するときは、⏮/⏭ボタンを押す

AM 810kHz 4

5
ENTERボタンを押して決定する

「Complete」（完了）と表示された後、放送局が選んだチャンネルに登録されます。

Complete

「Overwrite?」（上書きしますか？）と表示されたときは

Overwrite? 4

選んだチャンネル番号は登録済みです。

SHUFFLE YES/MODE

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODEボタンを押します。
- 登録をやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

MENU/NO CLEAR

「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞31ページ）、再度登録してください。

6
次の局を登録するときは、手順*1～5*をくり返す

！ヒント

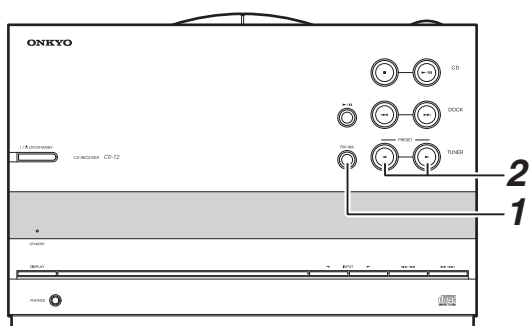
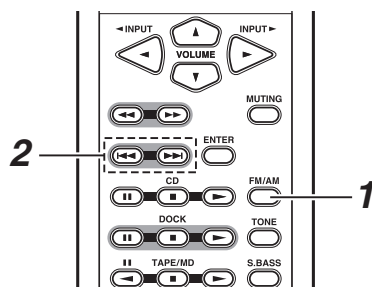
登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞32ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞31ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞30ページ

FM/AM放送を聞く

登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞27、28ページ)

■本体で操作する

1

FM/AMボタンを押す

もう一度押すとFMとAMが切り換わります。

FM　または　AM

2

PRESET◀/▶ボタンを押して登録した放送局を選ぶ

AUTO ▶●◀ FM ST
FM 84.7MHz 1

選んだプリセット番号

■リモコンで操作する

1

FM/AMボタンを押す

もう一度押すとFMとAMが切り換わります。

2

⏮/⏭ボタンを押して登録した放送局を選ぶ

!ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

例）登録番号	押すボタン
8	8
10	10/0
22	>10 2 2

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

FM/AM周波数 ⟺ 放送局につけた名前

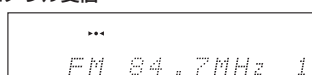
● 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name（ノー ネーム）」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「登録した放送局に名前をつける」(32ページ)

FM放送を受信しにくいときは

AUTO(ステレオ)受信

AUTO ▶●◀ FM ST
FM 84.7MHz 1

モノラル受信

▶●◀
FM 84.7MHz 1

電波の弱い所や雑音の多い所では、リモコンのYES/MODE（イエス/モード）ボタンを押し、AUTO（オート）表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTO（オート）に戻すときは、同じボタンを再度押します。
通常はAUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

FM/AMの登録した放送局を編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更などができます。

編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする（リモコンのみ）

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞32ページ）も同時にコピーされます。

1 コピーするチャンネルを呼び出す

例）4CH、FM80.0MHzを選んだとき

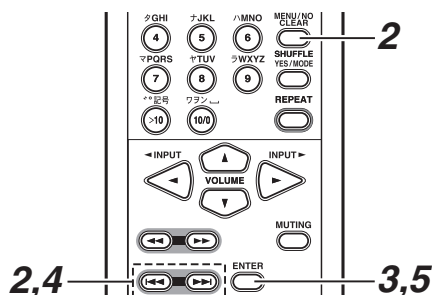
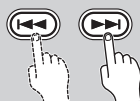
FM 80.0MHz 4

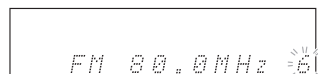
2 MENU/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる

Preset Copy?

3 ENTERボタンを押す

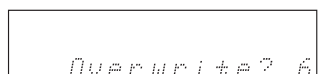
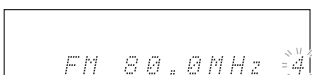
FM 80.0MHz 4

チャンネル表示が点滅します。

4 ⏮/⏭ボタンを押してコピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.0MHz 6

5 ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、放送局が指定のチャンネルにコピーされます。

「Overwrite?」（上書きしますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、YES/MODEボタンを押します。
- 書き換えをやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

FM/AMの登録した放送局を編集する

登録した放送局を削除する（リモコンのみ）

1

削除するチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.0MHzを選んだとき

2

MENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Preset（プリセット） Erase（イレーズ）?」を表示させる

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、MENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

4

ENTERボタンを押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、登録した放送局が削除されます。

登録した放送局に名前をつける

FMやAMの登録したチャンネルに放送局名などを、アルファベットやカタカナでつけることができます。
リモコンで操作します。

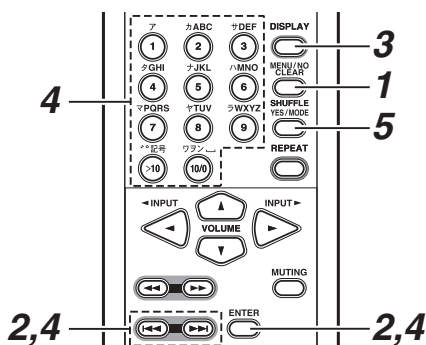
登録した放送局に名前をつける

- あらかじめ名前をつけたい放送局を登録しておいてください。(☞27､28ページ)
- 文字入力をやめるには、MENU/NO/CLEAR（メニュー/ノー/クリア）ボタンを2秒以上押し続けてください。それまでの文字入力は取り消され、元の表示に戻ります。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ’ ” , . ␣(空白)
![挿入記号]（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ
ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ
ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

1

MENU/NO CLEAR

MENU/NO/CLEAR（メニュー/ノー/クリア）ボタンを押す

2

◀◀/▶▶ボタンで「Name In?（ネーム イン）」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

表示部に、NAME（ネーム）表示が点灯します。

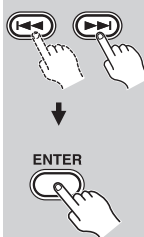
3

DISPLAY

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

4

または

ENTER

文字・数字ボタンや◀◀/▶▶ボタンで入力する文字を選ぶ

アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字が切り換わります。

たとえば、(2)ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTER（エンター）ボタンを押してください。

数字を入力するには

数字ボタンを押すとその数字が入力されます。

カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。

たとえば、(1) ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTERボタンを押してください。

記号を入力するには

(>10)ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。((>10) ボタンは、␣./＊−,!?&’() (10/0)ボタンはスペースが入力できます。）希望の記号を表示させてENTERボタンを押してください。

◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して文字を選び、ENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

- 数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
- 文字を挿入するときの「![挿入記号]」や、その他記号の入力は、◀◀ボタンまたは▶▶ボタンを押して選んでください。
- 濁点（゛）や半濁点（゜）は1文字としてカウントされます。また、「ア゛」のように通常濁点や半濁点を伴わない文字を入力すると、確定したときに「ア」と修正されます。
- 入力できる文字数は8文字です。8文字を超えて入力しようとすると、「Full（フル）」と表示されます。

5

SHUFFLE YES/MODE

YES/MODE（イエス/モード）ボタンを押して入力を終了する

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、文字入力が終了します。

登録した放送局に名前をつける

文字入力用ボタン一覧

␣は空白を表します。

ボタン	A（大文字のアルファベット）	a（小文字のアルファベット）	1（数字）	ア（カタカナ）
ア 1			1	アイウエオァィゥェォ
カABC 2	ABC	abc	2	カキクケコ
サDEF 3	DEF	def	3	サシスセソ
タGHI 4	GHI	ghi	4	タチツテトッ
ナJKL 5	JKL	jkl	5	ナニヌネノ
ハMNO 6	MNO	mno	6	ハヒフヘホ
マPQRS 7	PQRS	pqrs	7	マミムメモ
ヤTUV 8	TUV	tuv	8	ヤユヨャュョ
ラWXYZ 9	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ
ワヲン␣ 10/0	␣	␣	0	ワヲン␣
゛゜記号 >10	␣. /＊－, ！？&' ()	␣. /＊－, ！？&' ()	␣. /＊－, ！？&' ()	␣゛゜. /＊－, ！？&' ()

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、前ページの手順 ***1***、***2*** を行い、文字入力モードにしてください。

❶ ◀◀ / ▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる

❷ ● 訂正するときは、前ページの手順 *3*、*4* にしたがって正しい文字を入力する

● 消去するときは、MENU/NO/CLEAR ボタンを押す

続けて文字を訂正/消去する場合は上記❶❷をくり返してください。終わるときはYES/MODEボタンを押してください。

MENU/NO/CLEARボタンを2秒以上押し続けると、それまでの文字編集を取り消して元の表示に戻ります。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、前ページの手順 ***1***、***2*** を行い、文字入力モードにしてください。

❶ ◀◀ / ▶▶ボタンを押して、挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる

❷ I◀◀ボタンを押して「▯」を表示させ、ENTERボタンを押す

❸ 前ページの手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する

続けて文字を挿入する場合は上記❶❷をくり返してください。終わるときはYES/MODEボタンを押してください。

放送局につけた名前を消去する

❶ 入力をFMまたはAMにする

❷ I◀◀/▶▶Iボタンを押して、名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ

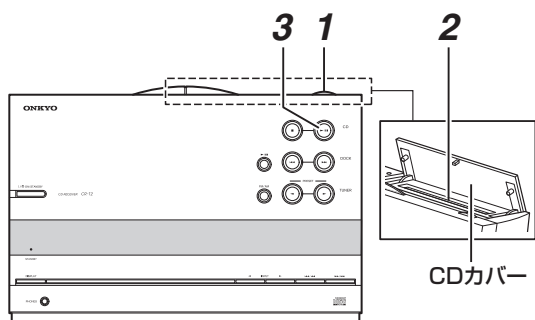
❸ MENU/NO/CLEARボタンを押した後、I◀◀/▶▶Iボタンを押して「Name Erase?」を表示させる

❹ ENTERボタンを押す

「Complete」と表示された後、名前が消去されます。

CDを聞く

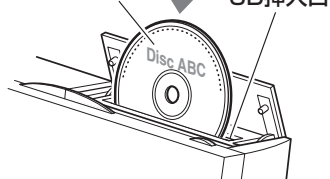
基本の操作

1

CD OPEN/EJECT(オープン/イジェクト)ボタンを押す

CDカバーが開きます。
スタンバイ状態のときは電源が入ります。

2

CD挿入口にCDを入れる

CDが本体に引き込まれます。
- CDカバーは自動的には閉まりません。手で閉めてください。
- CDを入れると、CD ■(ストップ)ボタンのインジケーターが点滅し、CD読み込み後点灯します。

8cmCDもそのまま入れてください。
アダプターを使用すると、故障の原因になります。

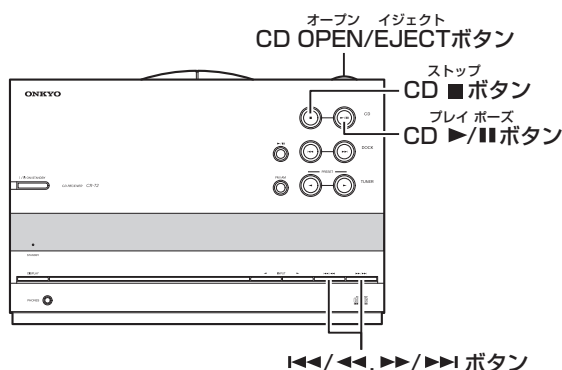
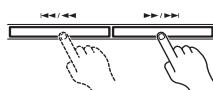
ご注意
電源が入っていないとCDを入れることはできません。

3

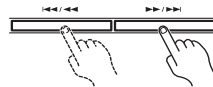
CD ►/❚❚(プレイ/ポーズ)ボタンを押す

再生が始まります。

CD TRACK
CD 1· 0:01
再生中の曲番　経過時間

本体で操作する

聞きたい曲を選ぶ

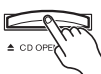
再生中、一時停止中に⏮/◀◀ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。▶▶/⏭ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離なします。⏮/◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶/⏭ボタンを押し続けると早送りになります。

一時停止する

CD ►/❚❚(プレイ/ポーズ)ボタンを押します。
- 表示部に❚❚(ポーズ)表示が点灯します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

CD ■(ストップ)ボタンを押します。

CDを取り出す

CD OPEN/EJECT(オープン/イジェクト)ボタンを押すとCDカバーが開きCDが出てきます。
- CDを取り出した後、CDカバーを手で閉めてください。

CDが取り出せないときは

CDが入っているのに「No Disc(ノー ディスク)」と表示されて取り出せないときは、CD OPEN/EJECTボタンを3秒以上押し続けてください。

リモコンで操作する

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶ボタンを押し続けると早送りになります。

聞きたい曲を選ぶ

再生中/一時停止中に I◀◀ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。
▶▶I ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAYボタンを押します。

数字ボタン

選曲して再生する

10/0ボタン :10または0を選びます。
>10ボタン　: 2桁以上の曲番を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10 ボタンを押してから選曲します。

再生する

CDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンの DISPLAY ボタンをくり返し押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

ご注意

- ディスクを再生できない場合は、9ページを参照して本機に対応しているディスクかどうかご確認ください。
- CD EJECT後、CDが挿入口にある状態で長時間放置しないでください。ディスクの変形や破損の原因となります。ディスクはケースなどに入れて大切に保管してください。

CDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生方法があります。

メモリー再生（リモコンのみ）

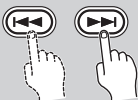
● 曲を指定し（25曲まで）、その順序で再生します。

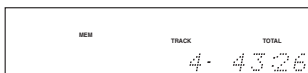
1

入力がCDで停止中

YES/MODEボタンを(くり返し)押して「MEM」を表示させる

「MEM」が点灯

2

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曲を選び、ENTERボタンを押して確定する

次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

数字ボタンで曲を選ぶこともできます。（☞35ページ）

間違って予約した曲を取り消すには

MENU/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後に入力したものから順に取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が99分59秒を超えると合計時間表示が「--:--」となりますが、再生に支障はありません。
26曲以上は予約できません。「Memory Full」と表示されます。

3

CD ▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲の中で選曲する

再生中に|◀◀/▶▶|ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

● メモリー再生モードの停止中に、MENU/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
● 一度再生モードを切り換えると、予約した内容は消えます。

解除するには

☞「メモリー再生、ランダム再生を解除する」37ページ
● ディスクを取り出しても解除されます。

ランダム再生（リモコンのみ）

● 曲順をランダムに並べかえて再生します。

1

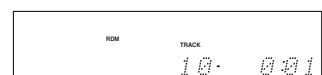
入力がCDで停止中

YES/MODEボタンを(くり返し)押して「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

2

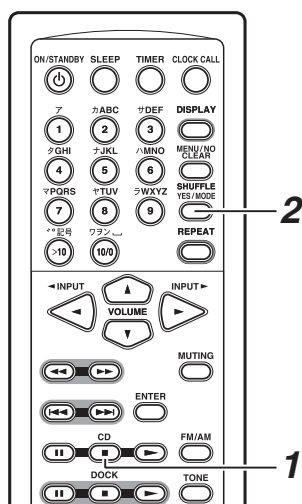
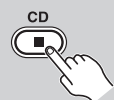
CD ▶ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

再生中の曲番

解除するには

☞「メモリー再生、ランダム再生を解除する」37ページ
● ディスクを取り出しても解除されます。

■メモリー再生、ランダム再生を解除する（リモコンのみ）

1

CD ■ボタンを押して再生を止める

2

SHUFFLE YES/MODE

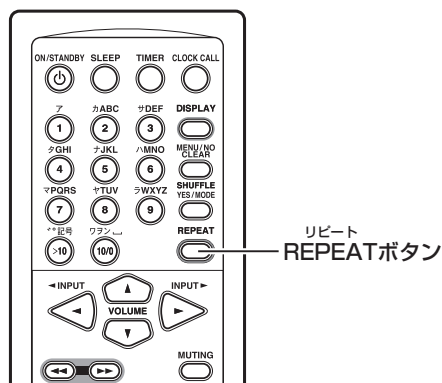
YES/MODEボタンを（くり返し）押して「MEM」も「RDM」も点灯していない状態にする

押すたびに表示が

MEM → RDM → 消灯

と切り換わります。

リピート/1TRリピート再生（リモコンのみ）

- リモコンで設定します。
- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生はCDの中の1曲をくり返し再生します。
- リピート再生は、メモリー再生やランダム再生と組み合わせて使うこともできます。

リモコンのREPEATボタンを(くり返し)押して「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

「REPEAT」または「REPEAT 1」が点灯

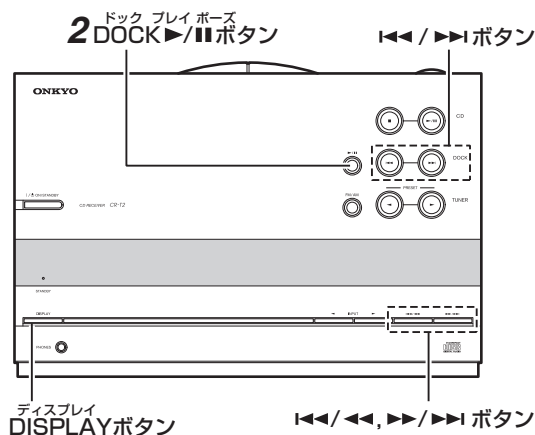
リピートまたは1TRリピート再生モードになります。

■リピート再生、1TRリピート再生を解除する（リモコンのみ）

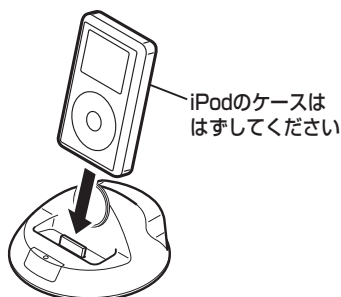
リモコンのREPEATボタンを（くり返し）押して「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

iPodを再生する（リモートインタラクティブドックを使う）

iPodを再生する

本体で操作する

1

iPodをRIドックにセットする

iPodをRIドックのiPodコネクタにしっかり差し込んでください。
iPodは一時停止状態になります。

iPodアダプターをお使いのiPodに合わせて調節する

iPod背面とのすき間がなくなるよう、iPodアダプターを回して調節してください。
左に回すとiPodアダプターを手前に、右に回すと奥に調節することができます。

2

DOCK ►/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。
iPodがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

音量を調節する

音量は本体またはリモコンのVOLUME▼/▲ボタンで調節してください。iPod側で調節しても音量は変わりません。iPod本体にヘッドホンを接続されるときは、誤って音量が大きくなりすぎていないか、iPod本体の表示で確認してからご使用ください。

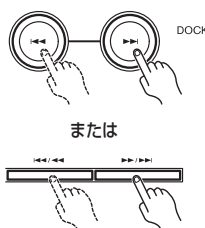
バックライトを点灯させる

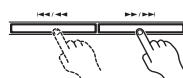
DISPLAYボタンを押すと、iPodのバックライトを30秒間点灯させることができます。

ご注意

- RIドックにセットしたiPodの操作は、基本的にCDレシーバー本体あるいはリモコンのDOCK操作ボタンで行ってください。
- DOCK ►/❚❚インジケーターは通常再生中に点灯しますが、次の場合は正しく点灯しないことがあります。
  - iPod側のボタンで操作した場合
  - iPod側で再生を停止した場合
  - その他、RIドック経由でiPodの状態が不明な場合

  このような場合は、CDレシーバー本体のDOCK ►/❚❚ボタンあるいはリモコンのDOCK ►ボタンを押してみてください。

聞きたい曲を選ぶ

再生中､一時停止中に⏮（⏮/◀◀）ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。⏭（▶▶/⏭）ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離なします。⏮/◀◀ボタンを押し続けると早戻し､▶▶/⏭ボタンを押し続けると早送りになります。

一時停止する

DOCK ►/❚❚ボタンを押します。
- もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

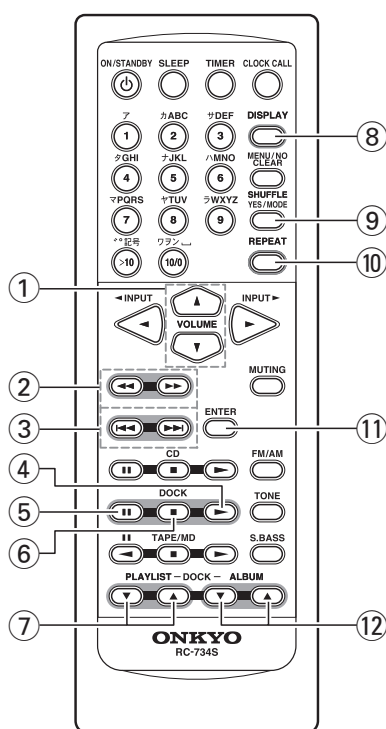
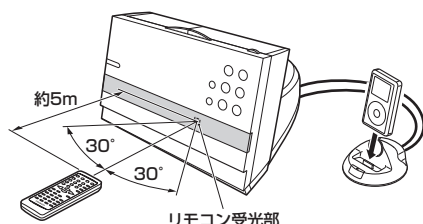
ご注意

- iPodをケースなどに入れている場合は、正しく接続できず音が出ない、リモコンで操作ができないなどの問題が起きることがあります。iPodはケースをはずしてからRIドックに接続してください。
- iPodを抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタを傷つけないようにしてください。また、使用中にiPodを手前に倒したりすると、コネクタを破損する原因となりますので、ご注意ください。
- FMトランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。

リモコンで操作する

付属のリモコンでiPodを操作することができます。
iPodをRIドックにセットした状態で、リモコンをCDレシーバーに向けて操作してください。

付属のリモコンで操作するには

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの接続が必要です。(☞21ページ)

① VOLUME▼/▲ボタン
本機の音量を調節します。iPod側で調節しても音量は変わりません。iPodにヘッドホンを接続されるときは、iPodの音量が誤って大きくなりすぎていないか、iPod本体の表示で確認してからご使用ください。

② ◀◀/▶▶ボタン
曲の早戻し、早送りをします。
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。◀◀ボタンを押し続けると早戻し、▶▶ボタンを押し続けると早送りになります。

③ |◀◀/▶▶|ボタン
再生中/一時停止中に|◀◀ボタンを1回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1つずつ前の曲に戻ります。
▶▶|ボタンを押すと1つずつ次の曲に進みます。

④ DOCK ▶ボタン
再生を始めます。
iPodがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

⑤ DOCK ▮▮ボタン
再生を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

⑥ DOCK ■ボタン
再生を停止します。

⑦ DOCK PLAYLIST▼/▲ボタン
iPodにプレイリストがある場合、▲ボタンを押すと再生曲を次のプレイリストに、▼ボタンを押すと前のプレイリストにスキップします。

⑧ DISPLAYボタン
iPodのバックライトを30秒間点灯させせます。

⑨ SHUFFLE/YES/MODEボタン
iPodのシャッフル（曲→アルバム→オフ、あるいはオン→オフ）を切り換えます。
曲かアルバムかの確認は、iPodの設定画面をご覧ください。

⑩ REPEATボタン
iPodのリピート（1曲→すべて→オフ）を切り換えます。

⑪ ENTERボタン
iPodの操作画面で選択している内容を決定します。

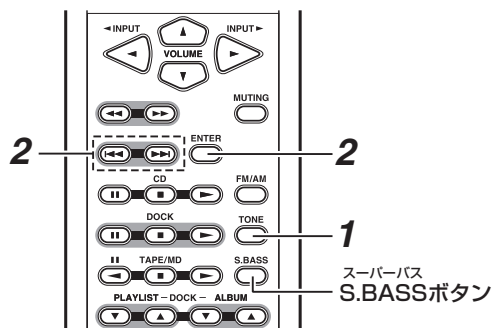
⑫ DOCK ALBUM▼/▲ボタン
iPodの曲リストに複数のアルバムがある場合、▲ボタンを押すと再生曲を次のアルバムに、▼ボタンを押すと前のアルバムにスキップします。

ご注意

- iPodの機種やソフトウェアのバージョンあるいは再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。
- プレイリストが選べないときは、iPodでいずれかのプレイリストを再生した後、PLAYLIST▼/▲ボタンを操作してみてください。
- アルバムを選ぶには、iPodを「アルバム」−「全曲」で再生した後、ALBUM▼/▲ボタンを操作してみてください。

音質を調整する

低音を調整する

1

TONE

TONEボタンを押して「Bass」を表示させる

「Bass」を調整しないときは、もう一度TONEボタンを押してください。「Treble」の調整に移ります。

◀◀/▶▶ボタンを押して低音を調整し、ENTERボタンを押す

- お買い上げ時の設定は「0」ですが、−10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、TREBLE（高音）の調整になります。

ご注意

操作中、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

高音を調整する

1

TONEボタンを(くり返し)押して「Treble」を表示させる

2

ENTER

◀◀/▶▶ボタンを押して高音を調整し、ENTERボタンを押す

- お買い上げ時の設定は「0」ですが、−10から＋10の間で2ステップずつ調整できます。
  実際に音を聞きながら、音がひずまない範囲でお使いください。
- ENTERボタンを押すと、元の表示に戻ります。

操作中、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。

重低音を強調する

S.BASS ボタンを押す

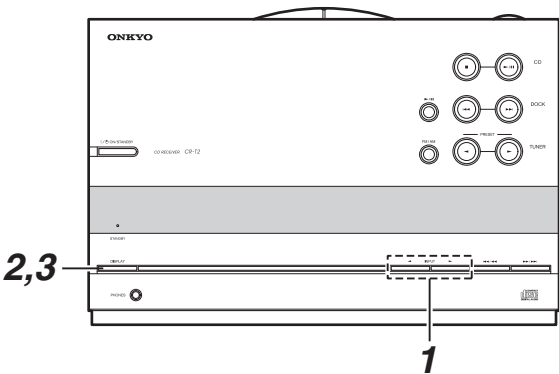
ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS 機能が働いているときは、S.BASS インジケーターが点灯します。

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力の表示名称を設定する必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

本体で操作します

1

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して「TAPE」を選ぶ

2

DISPLAYボタンを約3秒間押し続ける

3

一度、DISPLAYボタンを離した後、もう一度DISPLAYボタンを押して名称を選ぶ

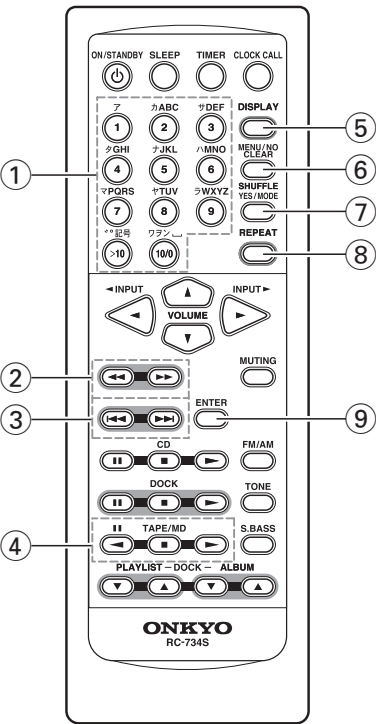
押すたびに次のように切り換わります。

2秒後､元の表示に戻ります。

リモコンの操作ボタンについて

接続した機器の表示名称を変えることによって、使用できるリモコンのボタンの働きは右表のとおりです。

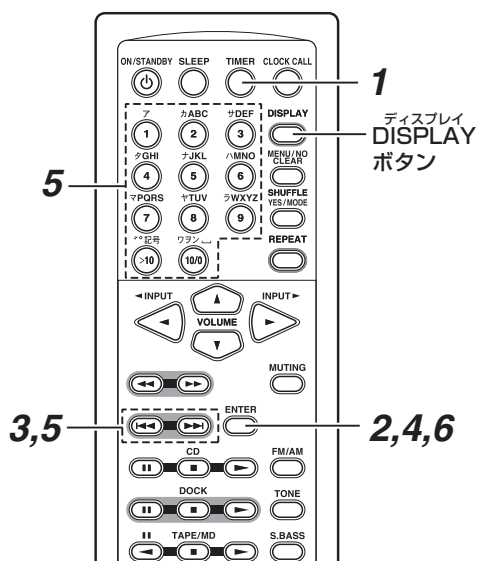
- 機器の接続については、21、22ページをご覧ください。
- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。
- ダブルカセットテープデッキの場合は、デッキBのみ操作することができます。

例：⑦ SHUFFLE/YES/MODEボタンの場合

- TAPE/MD端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NRボタンとして働きます。
- TAPE/MD端子にMDレコーダーを接続して入力名称を「MD」にしたときは、YES/MODEボタンとして働きます。

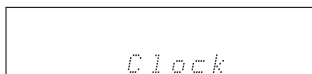
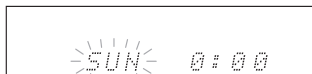
	接続端子	TAPE/MD	
	入力名称 / ボタン名	TAPE	MD
①	1～9		1～9
	10/0		10/0
	>10		>10
②	◀◀/▶▶		◀◀/▶▶
③	⏮/⏭	◀◀/▶▶	⏮/⏭
④	TAPE/MD ▶	▶	▶
	TAPE/MD ■	■	■
	TAPE/MD ◀/II	◀	II
⑤	DISPLAY		DISPLAY
⑥	MENU/NO/CLEAR		EDIT/NO/CLEAR
⑦	SHUFFLE/YES/MODE	DOLBY NR	YES/MODE
⑧	REPEAT	REV MODE	REPEAT
⑨	ENTER		ENTER

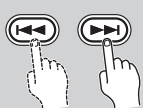
曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間（am/pm）表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示で説明しています。）

1

TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して「Clock（クロック）」を表示させる

Clock

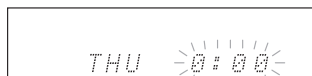
2

ENTER（エンター）ボタンを押す

曜日入力になります。

3

◀◀/▶▶ボタンを押して曜日を選ぶ

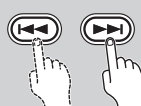
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

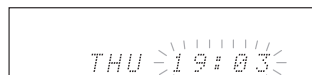
ENTERボタンを押して曜日を確定する

THU 0:00

時間入力になります。

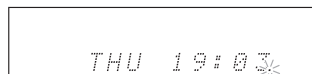
5

または

数字ボタンを押して時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）を続けて入力してください。

THU 19:03

- DISPLAY（ディスプレイ）ボタンで、24時間表示と12時間表示を切り換えることができます。
- 12時間（am/pm）表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。
- ◀◀/▶▶ボタンで時刻を合わせることもできます。

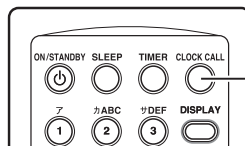
6

時報に合わせてENTERボタンを押す

時計が始動し、秒を示すドットが点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

MENU（メニュー）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK（クロック） CALL（コール）ボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間時刻を表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

CLOCK CALLボタンを押して時刻を表示させている間に、DISPLAYボタンを押します。

STANDBY（スタンバイ）時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ボタンを2秒以上押します。

時刻表示を「あり」にすると、「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類の設定

- タイマー Play（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマー Rec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
  タイマーRecは本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキやMDレコーダーに録音します。

再生機器の設定

CD、DOCK、FM、AMまたはTAPE (MD) を選択できます。なお、外部機器はオンキヨー製カセットテープデッキまたはMDレコーダーをRIケーブルで接続したときのみ、タイマー動作が可能です。
タイマー Rec（録音）は、FM、AMまたはDOCKから選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。
また、Everyタイマーは「Everyday（毎日）」、あるいは「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など連続した曜日を自由に設定することもできます。

例）
- Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
  タイマー Play（再生）―Every―Everyday（毎日）―7:00～7:30
- Timer 2　毎週月曜から土曜のラジオ放送を録音
  タイマー Rec（録音）―Every―MON（月曜日）～SAT（土曜日）―15:10～15:30
- Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
  タイマー Rec（録音）―Once―SUN（日曜日）―10:00～12:00

ご注意

- タイマー再生中や録音中に、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマー予約をするときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

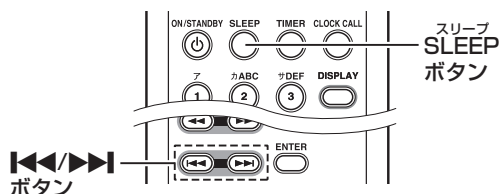
タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯し、そのタイマー番号が点灯します。
□が点灯している番号には、タイマー Recが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合は、タイマー番号が小さい方が優先されます。

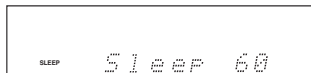
Timer 1　9：00 － 10：00
Timer 2　8：00 － 10：00
　↑ 優先(タイマー開始時刻が早い)
Timer 3　12：00 － 13：00
　↑ 優先（タイマー番号が小さい）
Timer 4　12：00 － 12：30

Sleepタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に本機をスタンバイ状態にします。

SLEEP

SLEEPボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、「Sleep 90」と表示され、90分後に電源がスタンバイ状態になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。60と設定すると、60分後に電源がスタンバイ状態になります。

SLEEP　Sleep 60

1分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に⏮/⏭ボタンで設定します。1～99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すと、SLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンをくり返し押します。

！ヒント

CDダビング機能のある機器と接続しているとき、「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用すると、寝る前や外出前にCDダビングを始めてもCDダビング完了時に電源をスタンバイ状態にすることができます。

タイマー機能を使う

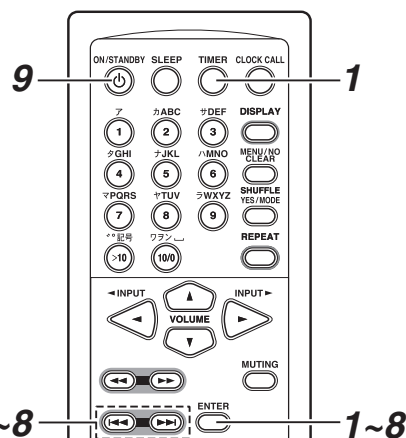
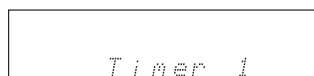
タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞27、28ページ)

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です

1

＜タイマー番号の選択＞

Timer 1

TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマー番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

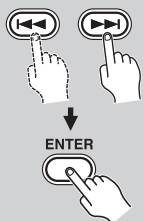
「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、最初に曜日と時刻を設定してください。(☞42ページ)

2

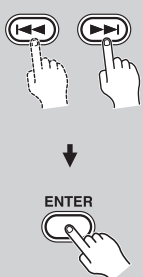
＜タイマー種類の選択＞

Play

または

Rec

⏮/⏭ボタンを押してタイマー Play（再生）またはタイマー Rec（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマー Recは本機にRI接続しているカセットテープデッキまたはMDレコーダーに録音されます。

3

＜再生機器の選択＞

⏮/⏭ボタンを押して再生する機器を選ぶ

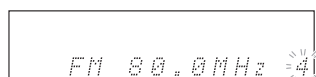
再生する機器が表示されたらENTERボタンを押します。

タイマー Rec（録音）のときは、FM、AMまたはDOCKから選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して再生するプリセットチャンネルを選ぶ

希望のプリセットチャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

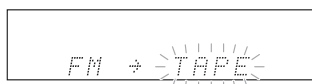
FM 80.0MHz 4

ご注意

タイマー Recのとき、再生機器にDOCKを選んでもiPodは再生状態になりません。このときは、入力がDOCKになり録音機器が録音状態になるだけです。DOCK入力にCSチューナーなどをつなぎ、その機器のタイマーと併用することにより、CSチューナーなどを録音機器にタイマー録音することができます。

4

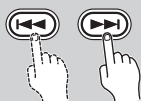
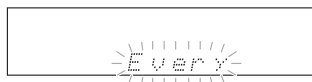
ENTER

＜録音機器の確認＞（タイマー Rec設定時のみ）

FM → TAPE

録音する機器が表示されるので、確認して ENTERボタンを押す

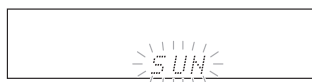
ご注意

FM、AMまたはDOCKはアナログでしか録音できませんので、MDレコーダーに録音する場合は、必ずオーディオ用ピンコードで接続し、MDレコーダーの入力をANALOG（アナログ）に切り換えてください。

5

＜曜日の設定＞

|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Once」または「Every」を選ぶ

「Once」を選ぶと一度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

ENTER

「Once」の場合：設定した曜日に一度だけ働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

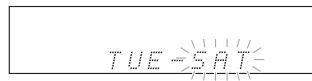
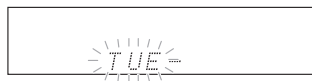
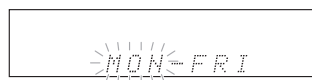
「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday（毎日） ⇔ SAT（土）

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON－FRI

① **|◀◀/▶▶|ボタンを押して最初の曜日を選ぶ**

希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

TUE－SAT

② **|◀◀/▶▶|ボタンを押して最後の曜日を選ぶ**

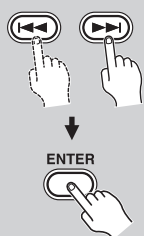
希望の曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

この場合、毎週火曜から土曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

ENTER

＜開始時刻の設定＞

On 7:29

|◀◀/▶▶|ボタンを押してタイマー開始時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。

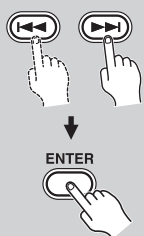
- am/pm表示のときは、＞10ボタンでamとpmが切り換わります。

！ヒント

開始時刻（On）を変更すると、終了時刻（Off）は自動的にその1時間後になります。

7

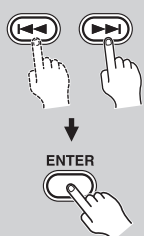
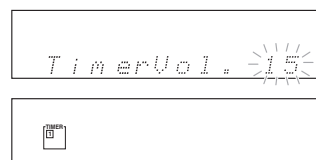
＜終了時刻の設定＞

Off 8:29

|◀◀/▶▶|ボタンを押してタイマー終了時刻を設定する

希望の時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

＜音量の設定＞

TIMER 1

|◀◀/▶▶|ボタンを押してタイマーによる再生時の音量を設定する

設定する音量を表示させたら、ENTERボタンを押します。
音量は、Mut（タイマーRecのみ）、Lst、1、2、3…40、41、Maxと設定できます。
お買い上げ時の設定は、タイマーPlayは15、タイマーRecはMutです。
Lst、Mutの動作は次の通りです。

Lst：最後に聞いた音量（スタンバイ状態にしたときの音量）になります。
Mut：MUTING機能が働いて音が消えます。MUTINGを解除すれば最後に聞いた音量になります。

9

＜スタンバイ状態にする＞

電源をスタンバイ状態にする

ON/STANDBYボタンを押して本機の電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

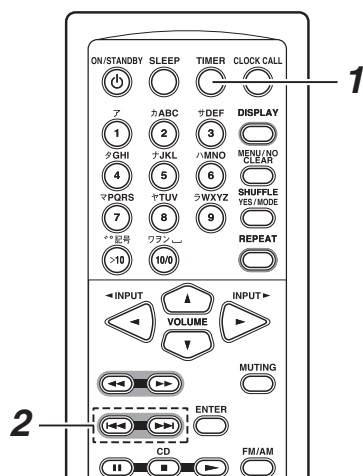
- 電源がスタンバイ状態以外のときには、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させるときには、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMER ボタンを押すと、動作中のタイマーは解除されます。
- お買い上げ時の設定では、タイマー Rec（録音）中は MUTING 機能が働いて音が消えます。音声を聞くには、リモコンの MUTING ボタンを押してください。または、タイマー Rec の音量設定で適当な音量に設定してください。

タイマー予約をやり直したいときは…

MENU/NO/CLEARボタンを押し、最初から設定してください。

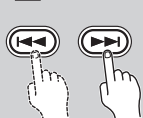
タイマーのOn(実行)/Off(取消)を切り換える

● 予約したタイマーの実行を取り消したり、タイマーを再び実行させることができます。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら､オン（実行）状態です。

2

⏮/⏭ボタンを押してOn(実行)/Off(取消)を切り換える

または

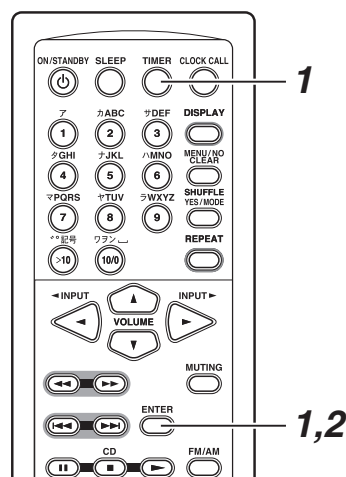
Timer Off

切り換えると約2秒後に元の表示に戻ります。

！ヒント

停電すると現在時刻が消え、すべてのタイマーが「オフ」になりますが、タイマーの内容は記憶されています。
現在時刻を合わせた後、再びタイマーを「オン」に設定できます。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2

ENTERボタンを（くり返し)押して内容を確認する

Rec

押すたびに現在設定されている内容を順に確認できます。

！ヒント

確認中、⏮/⏭ボタンを押して設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更して最後まで確認すると自動的にタイマー設定がOnになります。
すべての項目を確認してしばらくすると、元の表示に戻ります。
確認を途中でやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

困ったときは

まず下表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もあります。他の機器の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

■ すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. **本機をスタンバイ状態にした後、電源コードをコンセントから抜きます。**
2. **本体のON/STANDBYボタンを押しながら、電源コードをコンセントに差し込みます。**

   表示部に「RESET」と表示された後、スタンバイ状態になります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部にSLEEP表示が点灯している場合は、スリープタイマー動作中です。解除してください。**(43ページ)**
- タイマー再生、録音（**44~46ページ**）は終了時刻になるとスタンバイ状態になります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いている可能性があります。電源プラグをコンセントから抜き、再び差し直してください。それでも直らない場合は、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

音に関して

音が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？スピーカーのしん線は本体のスピーカー接続端子に確実に接続してください。**(18ページ)**
- ボリュームの音量レベルが小さすぎませんか?
- 入力ソースは正しく選択されていますか?
- MUTINGインジケーターが点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。**(25ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(25ページ)**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されているかご確認ください。向かって左側に置くスピーカーを本体のL端子、右側のスピーカーをR端子に接続してください。**(18ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビとCDレシーバーを離してください。
- 携帯電話の通話中など、CDレシーバーの近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- CDレシーバーは回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCDのディスクを読み取る音が聞こえることがあります。

振動で音が途切れる

- CDレシーバーは据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない場所に設置してご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源投入後10~30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CDに関して

音が飛ぶ

- CDレシーバーに振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると、音飛びすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクがCDレシーバーに入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度差し直してください。
- 別のディスクがすでに入っていないか確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- CDの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は、電源を入れて約1時間放置した後に操作してください。**(10ページ)**
- 「No Disc」と表示されるときは、一度電源プラグを抜いて入れ直し、スタンバイ状態でCD▶/❚❚ボタンを押してください。

ディスクの曲順通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**(37ページ)**

CDが取り出せない

- CD OPEN/EJECTボタンを3秒以上押し続けてください。
- 「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」**(本ページ左項)** を行った後、電源を入れてください。あるいは、CD OPEN/EJECTボタンを押してください。

困ったときは

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送のとき、「サー」というノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（19ページ）
- アンテナの位置や方向を変えてみてください。（26ページ）
- テレビやコンピューターから離してください。
- アンテナをスピーカーや他のケーブル類から離してください。
- アンテナをRIドックのACアダプターやRIドック、iPod本体から離してみてください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると、雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると、放送を受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに切り換えてみてください。（29ページ）
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常約1週間は保持されます。登録した放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定し直してください。

RIドックに関して

音が出ない

- iPodが再生していることをご確認ください。
- RIドックのiPodコネクタ部にiPod本体が正しく接続されているか確かめてください。
- コードやケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- RIドックをCDレシーバーのDOCK（ドック） IN（イン）端子に接続しているかご確認ください。
- ACアダプターがRIドック本体やコンセントから抜けていないかご確認ください。
- 入力が「DOCK」になっているか確認してください。
- 一度iPodをリセットしてみてください。

付属のリモコンで操作ができない

- 第3世代iPodには対応していません。
- RIドックのiPodコネクタ部にiPod本体が正しく接続されているか確かめてください。iPodをケースなどに入れている場合は、正しく接続できないことがありますので、必ずケースをはずして接続してください。
- iPodにAppleロゴが表示されている間は操作できません。しばらく待って、Appleロゴが消えてから操作してください。
- リモコンはCDレシーバーに向けて操作してください。
- RIケーブルだけでなく、オーディオ用ピンコードも接続してください。
- 一度iPodをリセットしてみてください。

DOCK（ドック） ►/II（プレイ/ポーズ）インジケーターがiPodの動作状態と一致しない

- iPod上のボタンで操作すると、DOCK（ドック） ►/II（プレイ/ポーズ）インジケーターがiPodの動作状態と一致しなくなることがあります。
  iPodの操作は、基本的にCDレシーバー本体あるいはリモコンのDOCK操作ボタンで行ってください。（38ページ）
- iPod側で再生が停止した場合、DOCK ►/IIインジケーターは点灯したままになります。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（⊕、⊖）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（11ページ）
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池を使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、正常に動作しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると、CDレシーバーが誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（21～23ページ）
  RIケーブルの接続だけではシステム動作は働きません。
- 外部入力機器の表示名称を正しく設定してください。（41ページ）

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か確認してください。
  内蔵していないレコードプレーヤーの場合は、別途フォノイコライザーが必要です。
- レコードプレーヤーにMCカートリッジをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

困ったときは

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。
  (42ページ)
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始前は必ず電源をスタンバイ状態にしてください。**(46ページ)**
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。
  (43ページ)
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。**(41ページ)**
- タイマー録音するには録音機器側に録音可能なカセットテープやMDをセットしておく必要があります。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。**(42ページ)**

その他

停電になった

- 時計が止まって「－－：－－」になり、すべてのタイマーが「オフ」になります。あらためて時計を設定し直し、必要なタイマーを「オン」に設定してください。

電源コードをコンセントに差し込んだとき、「RESET」と表示される

- 長期間電源コードが抜かれていたため、メモリーの内容がリセットされ、すべてお買い上げ時の設定に戻りました。あらためて必要な設定を行ってください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

CDレシーバーはマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのようなときは、電源プラグを抜いて10秒以上待ってからあらためて電源プラグを差し直してください。
それでも正常な動作に復帰しないときは、48ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行ってください。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下表のとおりです。

メッセージ	意味
Cannot Read	異常な（損傷している）ため、CDが読み込めない。ディスクを交換してください。
Complete	設定/編集が完了した。
Er-CD01	CDの動作に異常がある。（電源を切って、再度入れてみてください。それでもエラー表示が出るときは、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。）
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Memory Full	CDで25曲を超えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を超えてメモリーしようとした。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Disc	ディスクが入っていない。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

CDレシーバー部（CR-T2）

■ 総合

電源・電圧 AC 100V、50/60Hz
消費電力 37W
待機時電力 0.2W（時計表示なしのとき）
最大外形寸法 300(幅)×203(高さ)×215(奥行)mm
質量 3.2kg
音声入力
　アナログ 2
音声出力
　アナログ 1
　デジタル（光） 1
　サブウーファープリアウト 1
　スピーカー 1系統
　ヘッドホン 1

■ アンプ部

実用最大出力 10W＋10W
(6Ω、1kHz、全高調波歪率10%以下、2ch駆動時)
全高調波歪率 0.07%（1kHz 1W出力時）
0.4%（40Hz〜20kHz 1W出力時）
ダンピングファクター 25（8Ω）
入力感度/インピーダンス 200mV/50kΩ（TAPE/MD IN）
音声出力電圧/インピーダンス
1.0V/2.2kΩ（TAPE/MD OUT）
周波数特性 20Hz〜20kHz ±3dB（TAPE/MD OUT）
トーンコントロール最大変化量
　BASS ±10dB（100Hz）
　TREBLE ±10dB（10kHz）
　S.BASS1 ＋4dB（80Hz）
　S.BASS2 ＋8dB（80Hz）
SN比 80dB（TAPE/MD、IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス 6Ω〜16Ω

■ チューナー部

<FM>
受信範囲 FM：76.0MHz〜90.0MHz
AM：522kHz〜1629kHz
プリセットチャンネル数 30（FM/AM合計）

■ CD部

周波数特性 20Hz〜20kHz
ダイナミックレンジ 90dB
全高調波歪率 0.035%
音声出力/インピーダンス
−22.5dBm（光デジタル出力）
1.0Vrms/2.2kΩ（TAPE/MD OUT）

スピーカー部（D-T2）

形式 2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス 6Ω
最大入力 40W
定格感度レベル 80dB/W/m
定格周波数範囲 60Hz〜50kHz
クロスオーバー周波数 8kHz
キャビネット内容積 2.5リットル
最大外形寸法 128(幅)× 243(高さ)×217(奥行)mm
(サランネット、ターミナル突起部含む)
質量 1.0kg
使用スピーカー
　ウーファー　8cm A-OMFダイアフラム
　ツィーター　2cm バランスドーム型
ターミナル プッシュ式
防磁設計 有（JEITA）

RIドック部（DS-A1XP）

電源 DC IN5V（専用ACアダプター）
消費電力 0.5W
最大外形寸法 112(幅)×60(高さ)×112(奥行)mm
質量 220g
端子 アナログ音声出力　1
RI端子　1

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 X-T2CR
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555　受付時間　10：00〜18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G0902-1

SN 29400005